

— 三先 —

どうもこんにちは、桂あさ吉です。

今回のテーマは「三先」です。港区は江戸時代の中期から後期にかけて新田開発され、市岡新田をはじめ、ほとんど田んぼに覆われていました。そして、市岡新田の農業用水は尻無川から引いていたそうです。その農業用水を取り入れるための樋(とい)が三つ並んでる所があり、三ツ樋町(みつひちょう)と名付けられました。現在の福崎1丁目あたりです。その三ツ樋町の先にある地域が三先、今回のテーマの三先が登場するわけです。

- 息子　　－お父ちゃん、今年は大豊作やなあ。
父　　　－そうやなあ、大きな水害もなかったし、
 今年はいえ米がとれた。
息子　　－やっぱり尻無川からあの三つの樋で水
 を引いてるおかげかな。
父　　　－うん。あの三つの樋は大事な仕事をし
 てるなあ。そやさかい地名にも三ツ樋町
 とついでるんや。
息子　　－そうかあ。
父　　　－その先にある所は、三ツ樋町の先やか
 ら三先と言うんや。
息子　　－へえー。お父ちゃん、よう知ってるなあ。
 よーし、みっちゃんに言うて自慢したろ
 う。
息子　　－おーい、みっちゃん、三先はなんで三先
 って言うか知ってる？
みっちゃん－いいや、知らんで。
息子　　－ほな教えたらか！
みっちゃん－教えていらんよ。
息子　　－いいや、教える。三先は三ツ樋町のな
 あ…。
みっちゃん－先にあるから三先か？
息子　　－君、先言うたらあかんわ。
 きみさき言うたらあかんわ。



おあとがよろしいようで。